

【学校教育目標】

すべての教育活動に人権尊重の理念を位置づけ、
「知」「徳」「体」のバランスのとれた人間性豊かな児童を育成する

- 【めざす子ども像】
- (知) 根気強くやりぬく子
 - (徳) 命を大切にし、みんなと仲良くする子
 - (体) 元気に進んで行動する子

【めざす学校・教職員像】

～「いきいきと子どもが輝く学校」～

- ・一人ひとりの子どもに寄り添い、児童の将来にわたっての成長を育む支援・指導を尽くす教職員
- ・専門性を備え、児童と保護者、地域に信頼される教職員
- ・児童だけでなく、教職員のウェルビーイングの向上と人間的な魅力にあふれ健全で健康な教職員

【重点目標】

(知) 根気強くやりぬく子の育成

- ・一人ひとりの子どもをしっかり伸ばすために、言語能力をすべての学習の基盤と位置づけ、学習規律を徹底するとともに、発達段階に応じて系統的に指導する
- ・これまでの教育実践とICTとを最適に組み合わせて、学習活動を一層充実させること。また、特別な支援（日本語指導を含め）を必要とする子どもなど、多様な子どもたちへの学びを充実させること
- ・「共に学び、共に生きる」教育を基本とし、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムを構築するとともに、家庭の教育力の向上に取り組む

(徳) 命を大切にし、みんなと仲良くする子の育成

- ・不登校の未然防止に向けて、すべての児童が安心して過ごせるよう自己肯定感や自己有用感を高めることや、自分の意見を言うことができ安心して過ごすことができる居場所づくりに取り組む
- ・学校行事や体験学習、あいさつをするなど、人とのつながりを大切にしたい取り組みを推進する
- ・子どもたちが学校・家庭・地域に守られているという実感が持てるような、三者連携を構築する
- ・すべての子どもの安心安全の確保をし、学び合う場としてふさわしい美しい学校の学習環境づくりを推進する

(体) 力強く、元気な子

- ・より一層体を動かし、運動に親しむ習慣を身につけ、体力向上に取り組む環境づくりを推進する
- ・食育を推進するにあたり、生涯にわたるいきいきとした暮らしにつながる望ましい食習慣の形成、食品の産地や栄養的な特徴、郷土食や行事食等の食文化を学ぶとともに、保健・安全・衛生に関する指導を徹底し、アナフィラキシーショック等の予防、防止等の適切な対応を図る
- ・様々なストレスにさらされている児童一人ひとりに寄り添い、関係機関と連携しながら教職員全体で支える